



アバン仙台 Jr. Youth News 第31回 2017年 4月号

MJリーグ開幕!

勝利からつかんだ自信! ~ 今後への期待 ~ 第1節 アバン 2 - 0 YMCA

攻撃面の成果と新たな武器

4月8日(土)MJリーグが開幕しました。第1節のYMCA戦では、攻撃面の成長を感じました。パスの連携でよくボールを動かしながら、裏へ抜け出したり、サイドからのドリブル突破で決定機をつくることができ成長を感じることができました。

そして、リーグ戦に向けた取り組みの中で感じていたチームの新たな武器となるプレーもこの試合で見られ、今後のリーグ戦の大きな力となってくれることを確信しています。

その一つが、右記①写真にあるセットプレーからの得点です。これまでのアバンツアーレの歴史の中で、足元の技術で得点してもセットプレーで失点し、勝ち星を落としてしまう試合や、優勝を逃した試合もありました。昨年度もそうでした。そんなイメージの強いプレーですが、今年の3年生は身体の大きさと強さに恵まれ、セットプレーから得点することも多くなりました。MJリーグ初得点もそのセットプレーから生まれました。

②の写真は、その得点後の歓喜の場面です。とてもよい雰囲気です。

二つ目は、③のようにPA付近で、多くの選手がシュートを打つことが見られるようになったことです。特に守備的なポジションの選手たちのシュートが多くなってきています。チーム全体で相手ゴールを意識し、常にゴールを目指している良いプレーです。

その中で、大きな武器として成長しつつあるのが、③の写真でシュートを打つ佐藤輝(さとうひかる)くんです。最近、平日の練習では、立ち位置からニアサイド(近い方)だけでなく、ファーサイド(遠い方)に蹴り分ける練習をしています。その成果もあり、輝くんのキック精度は高いレベルにあります。今では苦手だった右足でも蹴り分けられるようになりました。ぜひ、そのシュートでチームを勝利に導いてもらいたいです。

良い部分が多く見られた半面、課題もありました。

試合後半に相手の激しいプレッシャーにより、パスミスが多くなることです。

原因は、相手の早いプレスにより状況が見えなくなったことで、パスミスが増えてしまいました。その結果、守備で走る時間が多くなることで、運動量が減り、自分たちのプレスが徐々に遅れてしまったことから、相手にゴールを脅かされる場面がありました。

良い部分が増えてきているからこそ、自分たちの課題を一つ一つ自覚して乗り越えていき更にレベルアップできるよう取り組んでいきましょう。



始まる戦いを前に「初・円陣」

リーグ戦・初ゴールの瞬間



第2節 4/29(土) 10:00K.O. vs古川東中 会場 めぐみ野サッカー場

最後の一年にかける選手の想い

4月は入学・進級の季節ですね。みなさん、おめでとうございます。3年生の長田陽太(おさだようた)くんが、全校生徒の前で新年度の抱負を代表して発表したそうです。陽太くんの中学生生活最後の一年にかける想いを紹介します。みなもよい活動をしていきましょう。

僕は、この一年、勉強とスポーツの両立を意識して行動したいと思います。勉強面については、今まで勉強をしなければいけない所で、メリハリを持たず注意されることや、努力をせずに後悔してしまったことがありました。

だから、3年生では、大切な時間を無駄にしないように人に指摘される前に自分から毎日コツコツと勉強していきます。学習したことを覚えて満足するのではなくきちんと定着させていこうと思います。

スポーツ面については、大会に向けて1つ1つの練習を、意識高く取り組みたいと思います。

しかし勉強がおろそかになってしまうことがないように、バランスを考えて頑張ろうと思います。学年全体としては、1人1人が柳生中学校を動かしているという意識をもって、積極的に行動していきたいです。先輩方が卒業をし、いよいよ私たちが最高学年になりました。

今年度は、中学校生活最後の1年です。悔いのないように過ごすために、自分の目標に向かって1つ1つ努力をしていきましょう。

保護者からのエール

今回、記事にある写真をよく撮影して下さる中学2年生の市川翔(いちかわしょう)くんのお母さまにインタビューをしました。

日頃よりお世話になっております。

僥倖ながら…先日開幕したリーグ戦その時の表情、一瞬のプレーを残したくて撮影させて頂きました。撮る事に必死になってしまいサッカーに関する知識には全く疎いのですがアバンファンになってしまいました。

素敵な選手達です。選手達の勇姿を見ていますと今回のリーグ戦もそうですが、先輩方の本気を観て我が息子が精進して欲しいと思います。

5年生だった我が子を思い出します。室内練習場へ連れていく道中の期待と不安。正直、続けられるかどうか不安も大きかったですが、パススピードもアプローチも早い Jr コースを観て、ここで練習したいと目を輝かせて私に話してくれたのを覚えています。その日からこうしてアバンツアーレに長年お世話になっております。

まだまだ未熟ですが、自信が付き成長しているのを感じます。プレー以外では、整理整頓! 素晴らしくお部屋が綺麗なのです! 大人になっても仕事を効率良く進めるには大切な事だと思います。それと、学校でも仕事を率先して引き受ける男気が出てきました! 自信の現れでしょうか。

これからもアバンファンとして写真を撮らせて下さい!

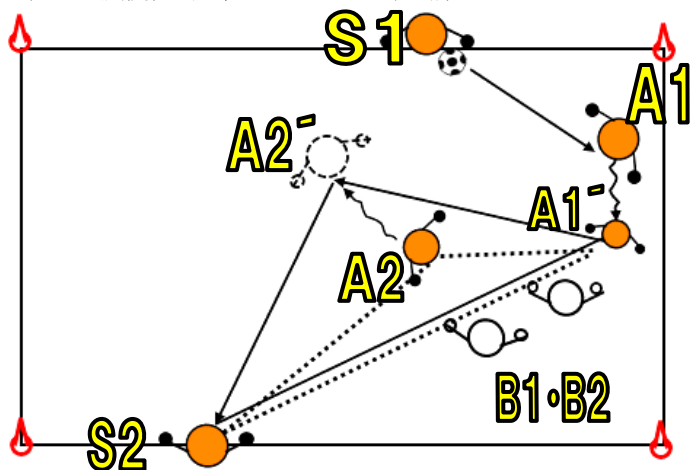
選手みなさんのファンである保護者みなさんの想いを知り、今後のリーグ戦を頑張らしましょう。

テクニカル部分への取り組み

運動量を伴って基礎技術を発揮する。アバンツァーレの攻撃的サッカーを最大限に表現していくためには、欠かせないものです。どれだけ、ドリブル技術に優れていても、サッカーの動き(ポジショニングやスペースの使い方)、「止める・蹴る」への追求は続けていきます。

ではここで、最近チームでよく目にするのは相手の足に当ててしまうパスミスです。「止める・蹴る」の基礎技術が身につけてきても、相手の守備のポジショニング、動きを見ないでパスを出してしまうのでは、せっかく持っている技術も意味はありませんよね。

そこで、改善するための練習として、下図のような取り組みをしています。求められるのは、「パスの精度とタイミング」、「トラップの質」「動きのタイミングと反復性」、「ポジショニングの運動性」です。



図は、コート内で2対2、サーバー2名というトレーニングです。サーバーA1からA2・A3を経由してA4の選手にパスを通したら1点。Bの選手たちはボール奪ったら、S1もしくはS2のサーバーにパスを出してルールは同じく攻撃スタートします。

今回のテクニカルポイント ~ ポジショニング ~

例えば、A2もA3も良い位置に準備できたとしましょう。A1からA2へパスが入り、A3がパスを欲しいタイミングにA2がA2'の位置にドリブルすると位置関係は変わり、A2'・A3とA4との三角形はできていますが、相手との距離も近くなり、足に当ててしまう状況に陥りやすくなります。

この状況を感じ、A3'の位置に移動することでA2'・A3'とA4の三角形が大きくなり、相手との距離も離れることでパスが通しやすくなります。こういった基本動作を絶えず状況観察して判断・実行できるようトレーニングに励みましょう。

ボールへの関りが多くなることで、自分たちが主導権を握り、楽しみながらサッカーを行うことができるはず。高いレベルで取り組めるよう日々精進していきましょう。

NEWS! 新しいコーチが加わります!



玉那覇 真悟
コーチ

名前：玉那覇 真悟(たまなは しんご)
年齢：35歳
サッカー歴：24年
指導歴：大学～現在までの約15年
ひとこと
沖縄では、3つのチームの立ち上げに携わってきました。皆さんがよく知っている源晴コーチと一緒に練習もしていたので、アバンのことは聞いていました！
良いチームと一緒にレベルアップしていきたいと思うので、よろしくお願いします！

「成長エピソード」

今回は、成長の見られる2年生の菊地翼くん、チームに創造性と安定感とくれる3年生の甲田真大くんを紹介します。

翼くんは自主練習での「走り」と「ドリブル練習」といった取り組みの成果が成長に表れています。今後のチームの攻撃の軸となって勝利に導いてくれることでしょう。



菊地 翼 くん
(きくち つばさ)

僕はFWとしての役割をまだチームのためにできていません。瞬時の判断力も含めてFWとして能力を高めていくためにトレーニング中にゴール意識をもって判断力も高めていきます。

MJリーグでは3年生に負けず、試合に絶対に出てやるという強い気持ちで準備していき、1分1秒でも出場できたら、貢献できるプレーをしたいです。新人戦に向けても貢献できるよう頑張ります。

真大くんは両足をレベル高く使いこなします。特徴的なのはどの選手よりも冷静にプレーできることです。また、創造性、観察力も高い選手です。彼がピッチに立つと安定感がでて、プレーが落ち着き、チームのプレーがゴールに向かい始めます。今後も真大くん注目です。



甲田 真大 くん
(こうだ まひろ)

小学生の時に、レベルの高いサッカーをしたくてアバンに入りました。僕の今の課題は、プレーの選択肢をもっと増やし、難しい状況でも打開できるようにすること。ドリブルはこれから自分より体格の大きな選手にも負けないコントロールや身体の使い方を磨いていきたい。

リーグ戦ではチームが全勝して1部昇格できるように全力を尽くしたい。出場機会がまだ少ないけれど、チャンスはまだあると思うので、諦めずに取り組んでいき、レギュラーで出場できるように頑張っていきたいと思います。

7期キャプテンの最後の雄姿



4月1日、7期卒業生キャプテン、渡辺大夢(わたなべひろむ)くんを、仙台FCとの練習試合に招待し、壮行試合を行いました。大夢くんは、進学する東北高校の遠征参加のため、壮行会に出席できなかった選手みんなと仙台FCにお願いし、実現しました。本当にご協力ありがとうございました。

試合後には、卒業証書授与式、記念品を手渡し、卒業生キャプテンから選手たちにエールをもらいました。最後までゴールを目指す姿勢を貫いてくれた大夢くんの活躍を期待し、選手は、卒業生たちの戦う姿を忘れず、リーグを戦いましょう。